

日本無線 株式会社 川越事業所

JRC

1915年に無線機のメーカーとして創立。ふじみ野市では、1982年～2012年に埼玉工場を操業、その後2016年に川越事業所を新設し、ソリューション事業部が事業を実施しています。

日本無線では、無線通信の研究開発を進め、ローカル5Gシステム、大容量無線通信システム、気象レーダーシステム、船舶用GPS受信機など、人と人・モノとモノをつなぐ、通信技術のリーディングカンパニーとして、世界の情報通信社会を支えています。



〒356-8580 ふじみ野市福岡2-1-12
TEL 049-257-6220
FAX 049-257-6159
Web <https://www.jrc.co.jp/>
代表者 代表取締役 小洗健
資本金 147億円
従業員 5,662名（連結）
設立年 1915年

国際資格の取得、主な表彰、開発実績

- 世界初の「キャビティ・マグネトロン」(レーダーのコア技術)を完成
- 日本初の「気象レーダー」を完成
- 世界初の「カーナビ向け車載用GPS受信機」を開発

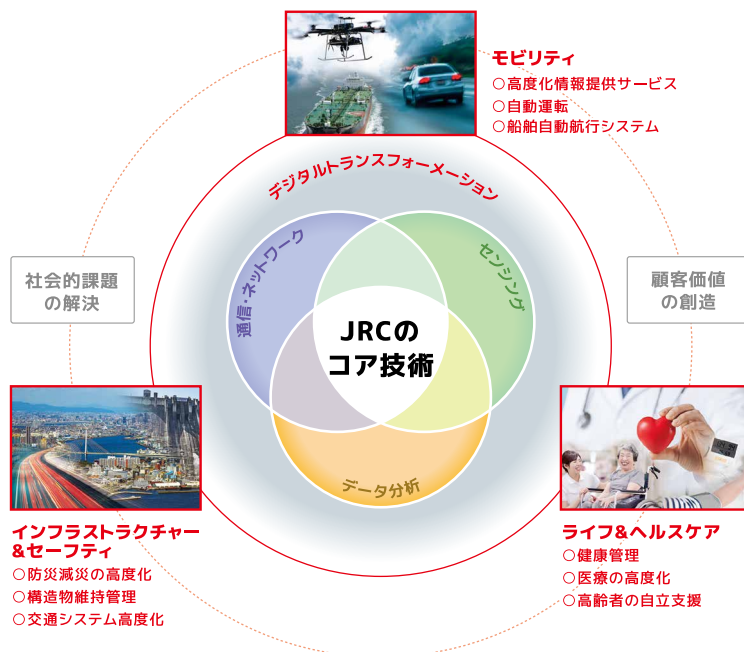
主要事業、得意技術や自社製品の紹介

- 創立以来築き上げてきたコア技術をベースに、「マリンシステム事業」「ソリューション事業」「特機事業」「コネクテッドシステム事業」「医用機器事業」を通じて、人と人、人と環境の新たなコミュニケーションの世界を構築します。
- 川越事業所の「ソリューション事業部」では、官公庁向けの大型システム(ダム放流の警報システム、災害情報支援システム、高速道路ラジオ放送システム等)の設計、開発を実施しています。

提供したいこと&求めること

- ふじみ野市と共に歩みながら、世界の情報通信社会の発展に貢献していきます。

未来を見据えたJRCのコア技術



道路情報管理システム



Xバンド小型気象レーダー



運行支援装置 J-Marine NeCST